

〈世界文学〉との対話と批評

講演会 8月5日(水)～8月9日(金)

一般公開、事前申し込み必要

来たる8月5日から、東京外国語大学国際日本研究センターは夏季セミナー・サマースクールを開催いたします。国際日本研究の発展と発信をめざす夏季セミナーは、今年で16回目を迎えます。本学の学年暦の変更に伴い、8月初旬の開催となりますが、今回も学内外から呼びしたゲスト講師と本学の教員による講義、さらに大学院生によるサマースクールの同時開催という形態で行います。

みなさまのご参加を心からお待ちしております。

8月5日(水) 対面 (東京外国語大学研究講義棟 115 教室)

14時30分～16時00分 久野量一(本学)

「朝鮮戦争とラテンアメリカ文学」

16時00分～17時30分 安藤礼二(多摩美術大学、文芸評論家)

「大江健三郎の「革命」小説——『宙返り』を中心に」

8月6日(木) オンライン

10時～11時 姜惠彬(医療創生大学)

「現代女性作家が語り直す「歴史」

——ハン・ガンと村田沙耶香の作品を読む——」

11時～12時 佐久本佳奈(日本大学)

「仮宿の生成 崎山多美「月や、あらん」の身体・書物・図書館」

8月7日(金) オンライン

10時～11時 Kosit Tiptiempong(本学)

「現代タイ文学とタイにおける日本文学の接点」

11時～12時 康潤伊(本学・国際日本研究センター特任研究員)

「在日朝鮮人文学の新しい読み方のために」

同時開催：サマースクール研究発表会 (大学院生による研究発表)

8月6日(木)、8月7日(金)

※ 参加をご希望の方は以下のリンク先またはQRコードよりお申込みください。

申込締め切り：2026年8月3日(月)午後5時(日本時間標準)

<https://forms.gle/792CTG7FHADXBLPg8>

